Dreame は、Dreame Technology Co., Ltd. およびその中国にある子会社の略称です。中国の企業名である「追覓」と同じ響きで、努力を惜しまず最良を追い求めることを意味し、絶えず技術を追及、探求、発見する企業のビジョンを表わしています。

LASER 1 WiFi モジュール：6189N-SFC R 214-125865

サポートにつきましては、support.jp@dreame.tech までお問い合せください。
公式サイト：https://www.dreametech.jp/
製造元：Dreame Trading (Tianjin) Co., Ltd.
中国製

JP-A00

Dreame Aqua10s Roller AE

DREAME

ロボット掃除機

取扱説明書

本取扱説明書のイラストは参考用です。実際の製品でご確認ください。

目次

安全上のご注意 01

製品紹介 04

使用前の準備 06

使用方法 08

日常のお手入れ 10

よくあるご質問 17

基本仕様 20

バッテリーの取り出しと廃棄 21

安全上のご注意

感電、火災、またはケガなどの事故を防ぐため、本製品をご使用の前に必ず取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用のうえ、大切に保管してください。

使用制限

・本製品は、8 歳以上のお子様や身体的・感覚的・知的障がいのある方、または使用経験や知識の乏しい方もご使用いただけますが、安全にご使用いただくために、必ず保護者または後見人の監督のもとでご使用ください。お子様がクリーニングやメンテナンスを行う際は、必ず保護者の監督のもとで実施してください。
・本製品は、付属の電源以外では使用しないでください。
・本製品には、専門技術者のみが交換可能なバッテリーが内蔵されています。
・掃除する場所を片づけてください。お子様が本製品で遊ばないようご注意ください。ロボット掃除機動作中は、お子様やペットが近づかないよう、安全な距離を保ってください。
・本製品は、浴室やプール付近での設置・充電・使用を行わないでください。
・本製品は、家庭内の床掃除用途にのみご使用ください。屋外、床以外の場所、または商用・工業環境では使用しないでください。
・本製品が正常に動作するよう、適切な環境下でご使用ください。本製品の想定範囲外の用途では使用しないでください。
・電源コードに損傷がある場合は、製造元または正規サービス代理店が提供する専用の電源コードまたは組み立て部品と交換してください。
・床より高い位置に吊り下げられた場所で、落下防護壁がない場合は使用しないでください。
・ロボット掃除機を逆さまに置かないでください。LDS センサー保護カバー、本体カバー、またはバンパーを持って本製品を持ち上げないでください。
・ロボット掃除機をご使用になる際は、環境温度が 0°Cから 40°Cの範囲内でご利用ください。床の清掃を行う前に、液体や粘着性の物質が床面に付着していないことを確認してください。

安全上のご注意

・本製品をご使用になる前に、引きずりによる損傷や損害を防ぐため、床面に吸い込まれる可能性がある物を片づけ、掃除ルート上のケーブルや電源コードを移動してください。
・ロボット掃除機が衝突して壊さないよう、床にある壊れやすい物や小さい物をあらかじめ片づけてください。
・ロボット掃除機の吸い込み口に、毛髪、指、その他の身体の部位を近づけないようご注意ください。
・クリーニングツールは、お子様の手の届かない場所に保管してください。
・幼児やお子様が眠っている部屋で本製品を使用しないでください。
・ロボット掃除機が据え置き中または移動中であっても、お子様やペットを乗せたり、物を置いたりしないようご注意ください。
・お子様の手が届く場所に洗剤を置かないでください。
・浄水タンクに入れることができるのは、浄水と正規の専用洗剤のみです。アルコールや消毒液など、他の液体は入れないでください。洗剤と浄水との割合は、洗剤ボトルで確認できます。洗剤はお子様の手の届かないところに保管してください。
・燃えているものの掃除にロボット掃除機を使用しないでください。引火性または可燃性の液体、腐食性ガス、または不希釈の酸や溶剤をロボット掃除機で吸い込まないでください。
・硬いものや尖ったものをロボット掃除機に吸い込ませないようご注意ください。石、大きな用紙、または製品を詰まらせる恐れのあるものをロボット掃除機に吸い込ませないようご注意ください。
・製品を清掃またはメンテナンスする際は、必ずコンセントを抜いてから作業してください。
・ロボット掃除機やベースステーションを湿った布で拭いたり、液体で洗浄したりしないようご注意ください。洗浄した部品は、十分に乾燥させた後で元通りに取り付け、ご使用ください。
・取扱説明書の指示に従い本製品をご使用ください。本製品の誤った使い方により生じた損失や損害については、保証対象外となります。
・電源ケーブル類が同梱されている場合、それらは本製品専用です。他の機器へは絶対に接続しないでください。

安全上のご注意

バッテリーと充電

・サードパーティーのバッテリーまたはベースステーションを使用しないでください。ロボット掃除機は、モデル RCHE0502 ベースステーションでのみ使用することができます。
・バッテリーやベースステーションの分解、修理、または改造は、絶対に行わないでください。
・ベースステーションを高温となる場所や火気周辺にはに置かないでください。
・ベースステーションの充電端子は、湿った布や濡れた手で拭いたり掃除したりしないでください。
・古いバッテリーを不適切に廃棄しないでください。不要なバッテリーは、各自治体のルールに沿って適切に処理してください。
・電源コードが損傷または断線した際は、直ちに使用を中止し、カスタマーサポートセンターへお問い合わせください。
・ロボット掃除機を持ち運ぶ際は、必ず電源を切り、可能であれば元の包装材に入れて運んでください。
・ロボット掃除機を長期間使用しない場合は、満充電後に電源を切り、涼しく乾燥した場所で保管してください。バッテリーが過放電しないように、少なくとも 3 カ月に一度充電してください。

レーザー安全情報

・本製品のレーザーセンサーは、クラス 1 レーザー製品に関する IEC 60825-1:2014 規格を満たしています。使用中にレーザー放射が直接目に入らないようにしてください。

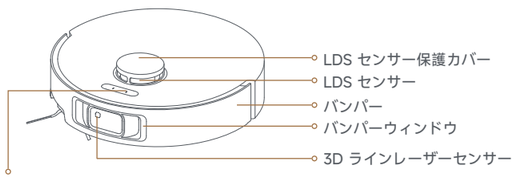
屋内専用

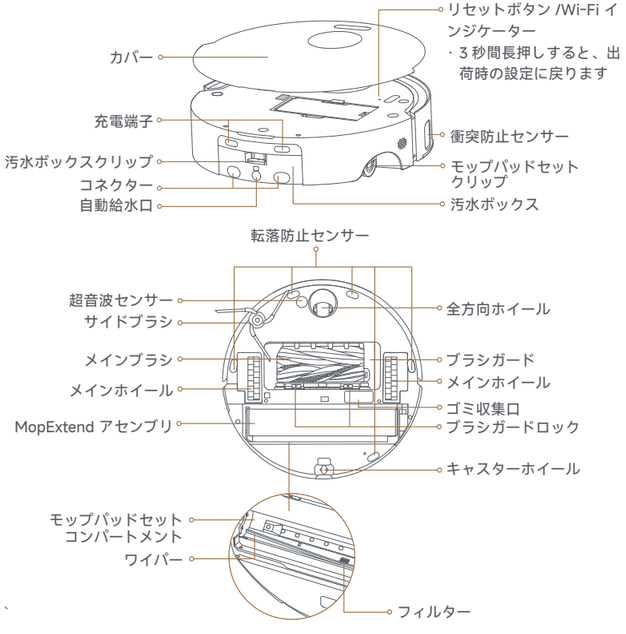
T 3.15 A ヒューズリンクの定格電流は 3.15 A です。

取扱説明書をお読みください

製品紹介

ロボット掃除機本体





ベース帰還ボタン

- 押すと、ロボット掃除機本体がベースステーションに戻ります
- 3 秒間長押しするとチャイルドロックを無効にします

電源 / クリーニングボタン

- 3 秒間長押しすると電源がオンまたはオフになります
- 押すと、ロボット掃除機本体の電源が入った後に掃除を開始します

スポットクリーニングボタン

- 押すと、スポットクリーニングを開始します

ボタンステータスインジケーター

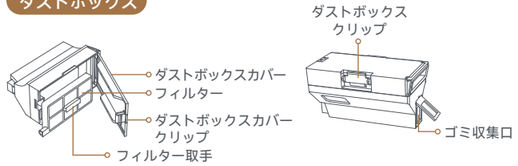
- 白色点灯：掃除またはクリーンアップの完了
- 白色のゆっくりした点滅：充電中（バッテリー残量は少なくなっていません）
- オレンジ色点灯：バッテリー残量低下による待ち状態またはバッテリー残量低下による一時停止
- オレンジ色のゆっくりした点滅：充電中（バッテリー残量低下）
- オレンジ色点滅：エラー

注：

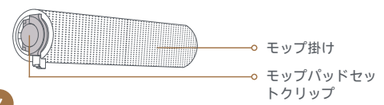
- 掃除中または充電のために帰還する途中にロボット掃除機本体のいずれかのボタンを押すと、一時停止します。
- Dreamehome アプリでチャイルドロックの有効と無効の切り替えができます。

製品紹介

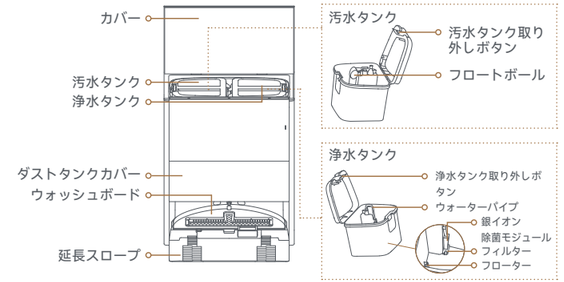
ダストボックス

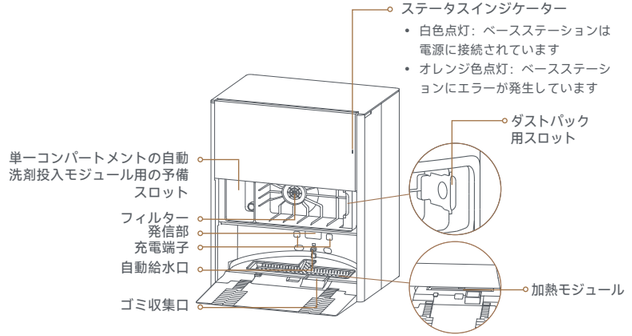


モップパッドセット

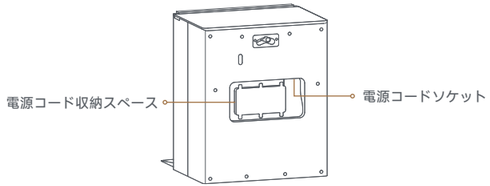


ベースステーション





注：単一コンパートメントの自動洗剤投入モジュールは別売です。

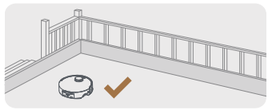


使用前の準備

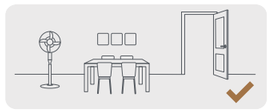
設置環境の準備



ロボット掃除機本体に絡まったり、傷をつけたり、転倒したりするなどの被害を避けるため、清掃前に、倒れやすいもの、壊れやすいもの、貴重なもの、危険を生じかねないものを安全な場所に移し、また床の上に散らばっているケーブル、衣類、子どものおもちゃ、硬いもの、鋭いものなどを片づけてください。



掃除する前に、ロボット掃除機本体が安全にスムーズに作動できるよう、階段周りにガードバーなどを使用してください。



掃除したい部屋のドアを開け、家具を適切な位置に移動させてスペースを作ります。



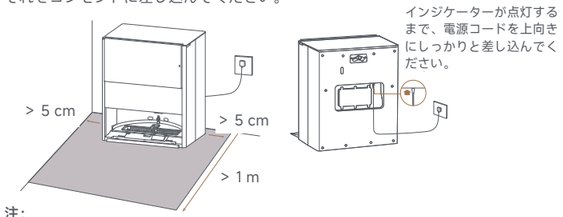
ロボット掃除機本体が掃除する必要のある場所を認識できるように、ロボット掃除機本体の前方、敷居、廊下、または狭い場所に立たないでください。

注：

- ロボット掃除機本体を初めて操作する場合は、掃除中にロボット掃除機本体についていき、障害になりうる物を直ちに取り除いてください。
- 石、鉄球、おもちゃの部品などの硬いものや、建築廃材、割れたガラス、釘などの鋭利なものを吸引しないでください。床に傷が付く可能性があります。

1. ベースステーションを設置し、コンセントに接続します

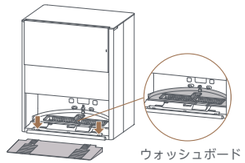
ベースステーションは、Wi-Fi 信号が届きやすい出来る限り開けた場所に設置してください。図に示すように十分なスペースを確保し、陰影エリア内に何かものがあればすべて取り除いてください。電源コードをベースステーションに差し込み、それをコンセントに差し込んでください。



注：

- 発信部をふさぐ可能性のある物がないことを確認してください。
- フローリングやカーペットの水汚れを防ぐために、ベースステーションはタイル床または大理石の床に置くことをお勧めします。

2. 延長スロープを取り付けます

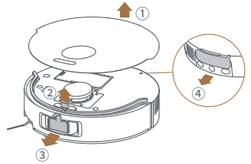


注：

- 使用前にウォッシュボードが正しく取り付けられていることを確認してください。
- ウォッシュボードは定期メンテナンス時に取り外して清掃することができます。

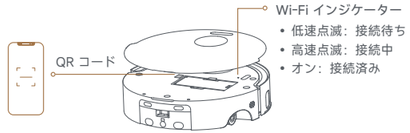
使用前の準備

3. ロボット掃除機本体の保護シールをはがします



4. Dreamehome アプリと接続します

(1) ロボット掃除機本体の電源ボタンを 3 秒間長押しして電源を入れます。ロボット掃除機本体のカバーの内側にある QR コードをスキャンするか、アプリストアで「Dreamehome」を検索し、アプリをダウンロードしてインストールします。
(2) Dreamehome アプリを開き、「QR コードをスキャンして接続」をタップし、ロボット掃除機本体の QR コードをスキャンしてデバイスを追加します。アプリの画面に従って Wi-Fi 接続を完了させます。

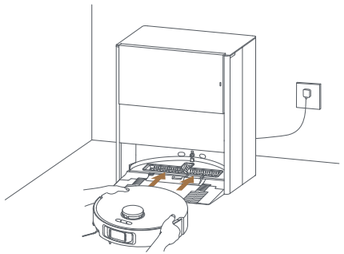


注：

- 2.4 GHz Wi-Fi のみに対応しています。
- Wi-Fi をリセットする場合は、手順 (2) を繰り返し、指示に従って Wi-Fi 接続を完了してください。
- デバイスを Wi-Fi ネットワークから切断するには、ロボット掃除機本体のリセットボタンを 3 秒間長押しします。
- アプリソフトウェアのバージョンアップなどにより、実際の操作方法が本書の説明と異なる場合があります。最新バージョンのアプリの指示に従ってください。

5. ロボット掃除機本体をベースステーションに接続します

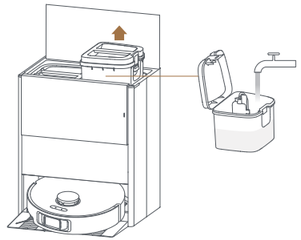
モップパッドセットをウォッシュボードの方に向けて、ロボット掃除機本体をベースステーションに置いてください。ロボット掃除機本体がベースステーションに正常に接続されると、音声による通知が聞こえます。ロボット掃除機本体とベースステーションのステータスインジケーターは、ロボットが完全に充電されても暗くならずに 10 分間点灯したままになります。



注： 初めて使用する前に、ロボット掃除機本体を完全に充電してください。バッテリーが消耗してロボット掃除機本体の電源が入らない場合は、手動でロボット掃除機本体とステーションを接続して充電してください。

使用前の準備

6. 浄水タンクに水を入れます
ベースステーションから浄水タンクを取り出し、タンクを浄水で満たします。その後、ベースステーションに戻します。



注:
- ウォータータンクにお湯を入れないでください。タンクが変形するおそれがあります。
- ウォータータンクとウォッシュボードの水は人が飲んだり、ペットに飲ませたりしないでください。

7. 汚水タンクに消臭モジュールを取り付けます
ベースステーションから汚水タンクを取り出し、消臭モジュールをタンクの底部に挿入します。下図に示すように消臭モジュールをカチッとはまるまで押してください。



注：消臭モジュールを洗浄または交換するには、汚水タンクから斜め上方向に引き抜いてください。

使用方法

電源オン / オフ

電源ボタンを 3 秒間押し続けると、ロボット掃除機本体の電源が入ります。電源インジケーターが点灯したままになります。もしくは、ロボット掃除機本体をベースステーションに置いて、ロボット掃除機本体の充電端子とベースステーションの充電端子を接触させます。そうすると、ロボット掃除機本体が自動的にオンになって充電を開始します。電源をオフにするには、ロボット掃除機本体をベースステーションから遠ざけ、 電源ボタンを 3 秒間長押しします。

高速マッピング

ネットワークを初めて設定したら、アプリの指示に従って速やかにマップを作成します。ロボット掃除機本体は掃除をせずにマッピングを開始します。ロボット掃除機本体がベースステーションに帰還した場合は、マッピングプロセスが完了したことを意味し、マップは自動で保存されます。

一時停止 / スリープモード

ロボット掃除機本体が走行中にいずれかのボタンを押すと、一時停止します。10 分以上一時停止の状態が続くと、ロボット掃除機本体は自動的にスリープモードになります。ロボット掃除機本体のすべてのインジケーターがオフになります。ロボット掃除機本体のいずれかのボタンを押すかアプリを使用してロボット掃除機本体を起動してください。

注：ロボット掃除機本体を一時停止してベースステーションに置くと、現在の掃除工程は終了します。

掃除の自動再開

バッテリーの残量が少なくなると、ロボット掃除機本体は自動的にベースステーションに戻って充電します。適切なバッテリーレベルまで充電すると、未完了の掃除タスクが再開されます。

注：この機能を使用するには、アプリで有効にしてください。

使用方法

おやすみモード

ロボット掃除機本体が「おやすみモード」に設定されている場合、ロボット掃除機本体は掃除を再開しません。おやすみモードは、工場出荷時は無効に設定されています。アプリを使用して、おやすみモードを有効にしたり、おやすみ期間を変更したりできます。初期設定では、時間帯は 22:00 ～ 8:00 に設定されています。

注:
- おやすみモード中も、クリーニング予約タスクは通常通り行われます。
- ロボット掃除機本体はおやすみ期間終了後に、中断した場所から掃除を再開します。

スポットクリーニング

ロボット掃除機本体が待っているときに ⛶ ボタンを短く押すと、スポットクリーニングモードが有効になります。このモードでは、ロボット掃除機本体は周囲 1.5 × 1.5 メートルの正方形のエリアを掃除し、スポットクリーニングが完了すると開始位置に戻ります。

掃除機本体の再起動

ロボット掃除機本体が反応しなくなったり、電源をオフにできない場合は、電源ボタンを 10 秒間長押しして強制的に電源をオフにします。次に、電源ボタンを 3 秒間長押しして、ロボット掃除機本体の電源をオンにします。

掃除機掛けとモップ掛け

注：ロボットはデフォルトで「掃除機および水拭き」モードで動作します。清掃モードを変更する場合は、アプリの清掃モード設定に移動し、以下の 3 つの追加オプションの中から選択してください：
① 掃除機掛け後モップ掛け
② 掃除機掛け
③ モップ掛け

1. 掃除の開始
ロボット掃除機本体の電源ボタンを押すか、アプリを使用してロボット掃除機本体をベースステーションから起動させます。その後、作成したマップに基づいてロボット掃除機本体が最適な掃除ルートを計画し、掃除作業を実行します。

注:
- 掃除後にロボット掃除機本体が簡単にベースステーションに戻るように、ロボット掃除機本体をベースステーションから起動させることをお勧めします。
- モップはロボット掃除機本体がモップ掛けを開始する前に清掃されますので、しばらくお待ちください。
- 稼働中にベースステーション、浄水タンク、汚水タンク、ウォッシュボードを動かさないでください。
- やけど防止のため、ベースステーションの動作中は吐水口や加熱モジュールには触れないでください。

2. 自動モップ洗浄
掃除中、ロボット掃除機本体は自動的にベースステーションに戻り、アプリで指定されたモップの掃除頻度に基づいてモップを洗浄します。ベースステーションはロボット掃除機本体の浄水タンクに自動的に水を補充し、掃除を再開します。

3. ダストボックス内のゴミを自動で収集し、モップを洗浄・乾燥します
ロボット掃除機本体が掃除作業を終えて充電するためにベースステーションに戻ると、ベースステーションは自動でダストボックスを空にし、モップを洗浄・乾燥します。

注:
- アプリで自動ゴミ捨て機能がオフになっている場合、ベースステーションはダストボックスを自動的に空にしません。
- ベースステーションはアプリの設定に従ってダストボックスを空にします。

4. 汚水タンクを洗浄します
ロボット掃除機本体の作業が完了したら、臭いが残らないように汚水タンクを掃除してください。

日常のお手入れ

部品

ロボット掃除機本体を良好な状態に保つために、アプリ内の付属品の使用方法または以下の表を参照して定期的なメンテナンスを行うことをお勧めします。

部品	お手入れの頻度	交換時期
汚水タンク	使用後毎回	/
浄水タンク	2 週間に 1 回	
メインブラシ		6 ～ 12 カ月ごと
ダストボックスのフィルター		3 ～ 6 カ月ごと
サイドブラシ		
ウォッシュボード		/
加熱モジュール	6 カ月に一度	
ベースステーションの発信部	月 1 回	
充電端子		
ゴミ収集口		
全方向ホイール		
キャスターホイール		
衝突防止センサー		
LDS センサー		

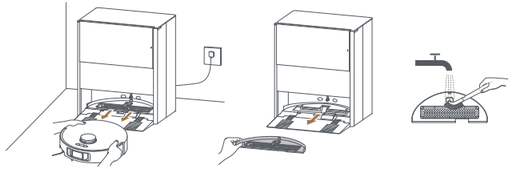
部品	お手入れの頻度	交換時期
超音波センサー	月 1 回	/
転落防止センサー		
バンパーウィンドウ		
バンパー		
ロボット掃除機本体の自動給水口		
ロボット掃除機本体の底部		
ダストボックス	必要に応じて清掃	
メインホイール		
汚水ボックス		
モップパッドセットコンパートメント		
ダストパック	/	2 ～ 4 カ月ごと
モップパッドセット		1 ～ 3 カ月ごと
銀イオン除菌モジュール		12 カ月
汚水タンク消臭モジュール	毎回使用後	3 ～ 6 カ月ごと

注： メンテナンスおよび交換の実施頻度は、実際の使用状況によって異なります。特別な事情による例外的な場合は、即時のメンテナンスまたは交換をお勧めします。

日常のお手入れ

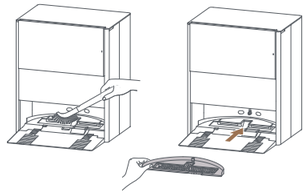
ウォッシュボードと加熱モジュール

1. モップの洗浄が完了したら、ロボット掃除機本体を取り出し、ウォッシュボードを取り外します。次にウォッシュボードを清潔な水で洗い、きれいに拭き取ります。



注： ウォッシュボードの下にある加熱モジュールには熱が残っていることがあります。やけど防止のため、ウォッシュボードを取り外すときは注意してください。

2. 使用中、加熱モジュールに湯垢ができることがあります。取り除くには、加熱モジュールの表面に少量の白酢（5% の酢酸）を注ぎ、適切なツールを使用して掃除します。その後、ウォッシュボードを元に戻します。



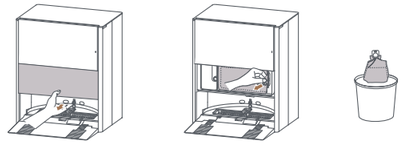
注：

- やけど防止のため、加熱モジュールの表面が冷めて室温に戻るまで待ってから掃除してください。
- 適切な湯垢除去剤を指示に従って使用することもできます。
- 故障防止のため、白酢や湯垢除去剤を浄水タンクに直接入れないでください。
- 加熱モジュールの清掃には、鋭利な器具や塩酸などの腐食性液体を使用しないでください。

3. アプリまたは ⌂ ボタンを使ってロボット掃除機本体をベースステーションに帰還させるか、手動で戻します。

ダストパック

1. ダストタンクカバーを取り外し、ダストパックを捨てます。



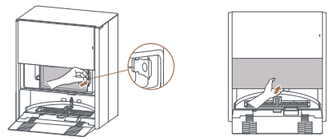
注： 取手を上に引くと袋が密閉され、ゴミやホコリが誤って飛び出すのを防ぎます。

2. 乾いた布でフィルターを拭き、ホコリやゴミを取り除きます。



日常のお手入れ

3. 新しいダストパックを取けて、ダストタンクカバーを元の位置に取付けます。

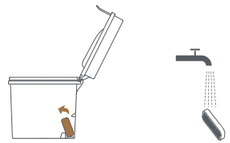


汚水タンク

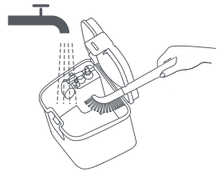
1. 汚水タンクを取り外し、カバーを開けて汚水を排出します。



2. 汚水タンク消臭モジュールを斜め上方向に引き抜き、きれいにすすぎます。



3. 清水でタンクを洗い、付属のクリーニングツールでタンクの内側を掃除します。



注： 汚水タンク内のフロートボールは、動きます。壊れないよう、掃除する際に強い力を加えないようにしてください。

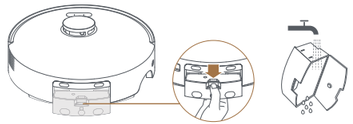
4. 汚水タンク消臭モジュールを再び取り付けます。



日常のお手入れ

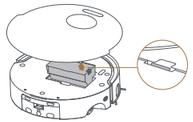
汚水ボックス

1. 汚水ボックスのクリップを押しながら汚水ボックスを取り外します。
2. 汚水ボックスのカバーを開き、中の汚水を捨てます。次に浄水でボックスを洗い、乾かしてからロボット掃除機本体に再度取り付けます。



ダストボックスとフィルター

1. ダストボックスクリップを押してダストボックスを取り外します。

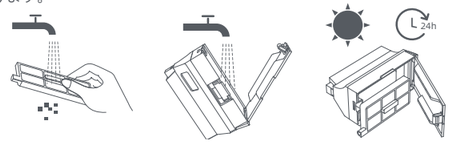


2. ダストボックスカバーを開けてフィルターを取り外し、ダストボックスを空にします。フィルターのバスケットを軽くたたいて汚れを取り除きます。



注： フィルターが破れないよう、ブラシや指、先の尖った道具などで掃除しないで下さい。

3. ダストボックスとフィルターを水で洗い流し、十分に乾かしてから元通りに取り付けます。

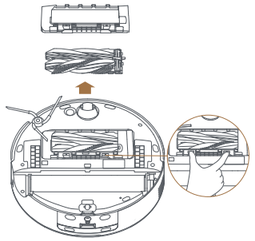


注：

- ダストボックスとフィルターは清水のみで洗い流してください。洗剤は使用しないでください。
- ダストボックスとフィルターは、十分に乾かしてから使用してください。

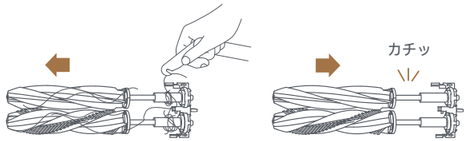
メインブラシ

1. ブラシガードロックを内側に押し込んでブラシガードを取り外し、ブラシをロボット掃除機本体から持ち上げて取り出します。



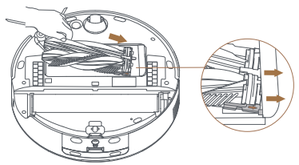
日常のお手入れ

2. 図を参考に、ブラシを取り出します。適切なツールを使用して、ブラシに絡まった髪の毛を取り除きます。清掃後、ブラシを押してブラシがメインブラシホルダーの所定の位置にカチッと収まるように取り付けます。

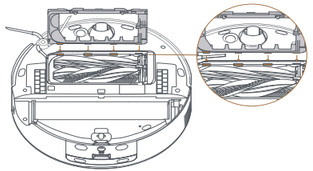


注： メインブラシを取り出す際は、怪我をしないように注意してください。

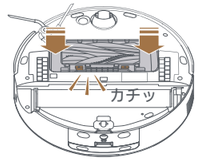
3. スクリーン印刷された矢印を上に向けて、メインブラシホルダーをスロットに斜め下向きに差し込みます。



4. ブラシガードを取り付けます
（1）位置合わせと挿入：ブラシガードのすべてのタブを対応するスロットに差し込み、完全に固定され、突出していないことを確認します。



（2）押し込んで固定：ブラシガードの両側を押し下げ、「カチッ」という音がするまで押し込んでください。



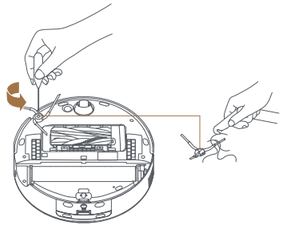
（3）最終確認：すべてのクリップが完全に固定され、タブが突出していないことを確認します。

注： ブラシガードが正しく取り付けられていることを確認してください。正しく取り付けられていない場合、運転中に異音が発生したり、床を傷つけるおそれがあります。

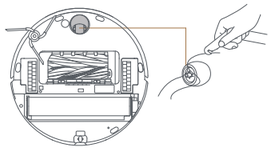
日常のお手入れ

サイドブラシ

サイドブラシをドライバーで外し、ブラシに絡まった髪やゴミを取り除いてから、再度ネジで固定します。



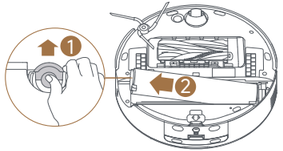
全方向ホイール



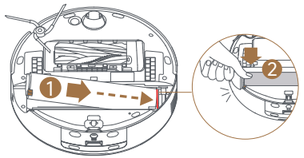
注：
- 小型ドライバーなどの工具を使用して、全方向ホイールの車軸とタイヤを分離します。あまり強い力を加えないでください。
- 全方向ホイールを流水ですすぎ、完全に乾燥させてから元に戻します。

モップパッドセット

1. クリップを押し、モップパッドセットをゆっくり持ち上げて取り外します。

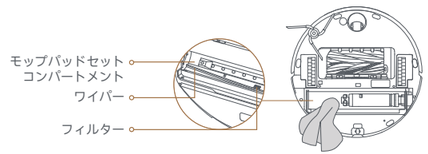


2. 新しいモップパッドセットは、所定の位置にぴったりと収まるように取り付けてください。



モップパッドセットコンパートメントとフィルター

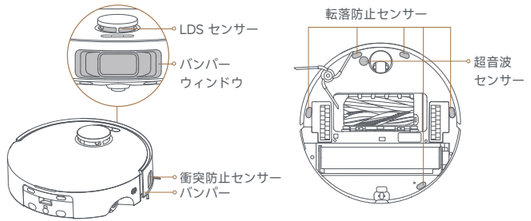
ロボット掃除機本体からモップパッドセットを取り外します。モップパッドセットコンパートメント、ワイパー、フィルターを掃除して詰まりを防止してください。



日常のお手入れ

ロボット掃除機本体のセンサー類

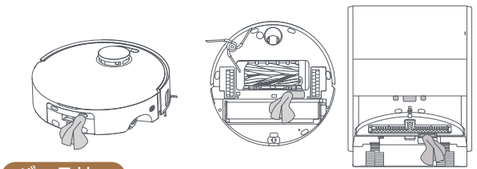
図を参考に、柔らかい乾いた布でロボット掃除機本体のセンサーを拭きます：



注： 濡れた布はロボット掃除機本体やベースステーション内の傷つきやすい部品に損傷を与えるおそれがあります。お手入れには乾いた布を使用してください。

ゴミ収集口、充電端子、発信部

ゴミ収集口、充電端子および発信部を柔らかな乾いた布で拭いてください。



バッテリー

ロボット掃除機本体には高性能のリチウムイオンバッテリーパックが内蔵されています。最適なバッテリー性能を維持するために、毎日の使用においてバッテリーが十分に充電されていることを確認してください。ロボット掃除機本体を長期間使用しない場合は、電源を切って保管してください。過放電による破損を防ぐため、少なくとも 3 カ月に 1 回はロボット掃除機本体を充電してください。

よくあるご質問

問題	解決法
ロボット掃除機本体の電源が入りません。	• バッテリー残量が少なくなっています。ベースステーションでロボット掃除機本体を充電して、もう一度試してください。 • バッテリーの温度が低すぎる、または高すぎます。周囲温度0°C（32°F）以上、40°C（104°F）未満の環境でロボット掃除機本体を使用することをお勧めします。
ロボット掃除機本体が充電されません。	• ベースステーションが電源に接続されていません。電源コードソケットの両端が正しく差し込まれていることを確認してください。 • ベースステーションとロボット掃除機本体の充電端子間の接点の接触不良の可能性があります。充電端子を清掃してください。 • ロボット掃除機本体のコネクタ部に異物がないか確認し、異物がある場合は取り除いてください。
ロボット掃除機本体が Wi-Fi に接続できません。	• Wi-Fi ネットワークのパスワードが間違っています。Wi-Fi ネットワークに接続する際のパスワードが正しいことを確認してください。 • ロボット掃除機本体は 5 GHz Wi-Fi 接続に対応していません。ロボット掃除機本体が 2.4 GHz Wi-Fi に接続されていることを確認してください。 • Wi-Fi の電波が弱い。ロボット掃除機本体が Wi-Fi 受信感度が良好な場所にあることを確認してください。 • ロボット掃除機本体を設定する準備ができていない可能性があります。アプリを終了して再度ログインし、指示に従ってもう一度お試しください。

問題	解決法
ロボット掃除機本体がベースステーションを見つけられず、戻ることができません。	• ドアが閉まっているなど、戻るためのルートが遮られているかもしれません。 • ベースステーションの電源が切断されているか、ロボット掃除機本体がベースステーション上にないときに移動されています。ベースステーションを電源に接続するか、ロボット掃除機本体をベースステーションの上に置いて充電してください。 • ベースステーションの周囲に障害物が多すぎます。ベースステーションをより開けた場所に設置してください。 • ロボット掃除機本体を移動すると、ロボット自体の位置が変更される場合があり、再度位置決めに失敗した場合はマップが再作成されます。ロボット掃除機本体がベースステーションから離れすぎている場合、ロボット掃除機本体は自身ではベースステーションに帰還ができない恐れがあり、その場合、手動でロボット掃除機本体をベースステーション上に戻す必要があります。 • ベースステーションの発信部を拭き、ホコリやゴミを取り除いてください。
ロボット掃除機本体がベースステーションの前で立ち往生し、ベースステーションに戻ることができません。	• ロボット掃除機本体の進路を妨げないように、ベースステーションの両側または前方に十分なスペースがあるか確認してください。 • ベースステーション前の床が過度に濡れている場合、ロボット掃除機本体が滑る場合があります。その場合は、余分な水を取り除いてから再試行してください。 • ベースステーションを別の場所に移してから、もう一度試してみることをお勧めします。 • 延長スロープが正しく取り付けられていることを確認してください。

よくあるご質問

問題	解決法
ロボット掃除機本体の電源が切れません。	• 充電中はロボット掃除機本体の電源をオフにできません。ロボット掃除機本体をベースステーションから移動させ、電源ボタンを 3 秒間長押しして電源をオフにすることをお勧めします。 • 手順 1 でロボット掃除機本体の電源が切れない場合は、電源ボタンを 10 秒間長押しするとロボット掃除機本体の電源が強制的に切れます。問題が解決しない場合は、アフターサービスにお問い合わせください。
充電速度が遅い。	• ロボット掃除機本体のバッテリー残量が少ない場合、ロボット掃除機本体を完全に充電するには約 3.5 時間かかります。 • 指定範囲外の温度でロボット掃除機本体を稼働させると、バッテリーの寿命を延ばすために充電速度が自動的に遅くなります。 • ロボット掃除機本体とベースステーションの充電端子が汚れている可能性があります。乾いた布で拭いてください。
ロボット掃除機本体の動作中にノイズが大きくなります。	• ダストボックスフィルターが目詰まりしていないか確認してください。詰まっていたら、掃除するか交換してください。 • ブラシガードが正しく取り付けられていることを確認してください。（本マニュアルの「日常的なお手入れ」セクションを参照してください） • メインブラシやダストボックスに硬いものが挟まっている可能性があります。硬いものがないか確認し、あれば取り除いてください。 • メインブラシやサイドブラシにゴミが絡まっている可能性があります。異物がないか確認し、あれば取り除いてください。 • 吸引モードを標準または静音に切り替えてください。

問題	解決法
ロボット掃除機本体がルート通りに動きません。	• ロボット掃除機本体を使用する前に、電源コードやスリッパなど室内のものを片付けてください。 • 濡れたり滑りやすい床面で稼働させると、メインホイールが滑る原因となります。ロボット掃除機本体を使用する前に、濡れた場所を乾かすことをお勧めします。 • ロボット掃除機本体のバンパーウィンドウを清潔で柔らかい布で拭き、レーザーを遮らない清潔な状態に保ちます。
ロボット掃除機本体が、指定した部屋を掃除しません。	• 掃除する部屋のドアが開いていることを確認してください。 • 掃除する部屋の前の床が濡れていて滑りやすい場合、ロボット掃除機本体が滑って誤作動することがあります。濡れた床を拭いてから、ロボット掃除機本体を使用してください。
ロボット掃除機本体が、充電後に掃除を再開しません。	• ロボット掃除機本体がおやすみモードに設定されていないか、確認してください。このモードでは掃除は再開されません。 • ロボット掃除機本体をベースステーションに手で置いたり、アプリまたは⌂ボタンを介して充電ベースに送ったりした場合は、掃除を再開しません。

よくあるご質問

問題	解決法
ステーションがダストボックスを自動的に空にしません。	• ダストタンクのダストパックが満杯でないか、確認してください。 • ダストパックが満杯ではない場合は、ロボット掃除機本体のゴミ収集口、ベースステーション、またはダストボックスに障害物がないか確認してください。異物がある場合は取り除いてください。
ウォッシュボードの水位が異常です。	• 汚水タンクのシールが緩んでいないか、正しく取り付けられていないかどうかを確認し、シールが緩んでいる場合は手動でリセットしてください。もし問題が解決しない場合は、カスタマーサポートセンターにご連絡ください。 • 汚水タンクを軽く押して、正しく取り付けられていることを確認します。 • ウォッシュボードを外し、排水口が詰まっていないか確認してから掃除してください。 • 専用床洗剤を確認してください。専用床洗剤以外の液体を加えないでください。

問題	解決法
モップパッドセットが異常に上がっています。	• モップパッドセットを取り外して異物が挟まっていないか確認し、ロボット掃除機本体を再起動してみてください。もし問題が解決しない場合は、カスタマーサポートセンターにご連絡ください。
浄水タンクの下やシール付近に水が溜まります。	• 浄水タンクを取り出す際、タンク下やシール付近に配管内の水が残る場合があります。これは正常です。乾いた布で拭いてください。

その他の詳しいサービスについては、support.jp@dreame.tech にご連絡ください。
公式サイト：https://www.dreametech.jp/

基本仕様

ロボット掃除機本体

型式	RLH21SE
充電時間	約 3.5 時間
定格電圧	14.4 V ⎓
定格電力	75 W
動作周波数	2400-2483.5 MHz
最大出力	20 dBm 未満

通常の使用条件では、本機器はアンテナとユーザーの身体との間に少なくとも 20 cm の距離を保つ必要があります。

ベースステーション

型式	RCHE0502
定格入力	100 V ～ 50-60 Hz
定格出力	20 V ⎓ 2 A
定格電力 (ゴミ収集中)	650 W
定格電力 (温水クリーニング中)	330 W
定格電力 (充電中および乾燥中)	100 W
充電電流	0.6 A

注:

- 定格電力（温水クリーニング中）は典型的な期間（水温 25°C）での電力値により決まります。
- 定格電力（充電中および乾燥中）は、全負荷時の電力値によって決まります（周囲温度 23° C ± 2° C）。

バッテリーの取り出しと廃棄

内蔵のリチウムイオンバッテリーには、環境に有害な物質が含まれています。廃棄する場合は、必ず専門業者がバッテリーを取り出し、適切なリサイクル施設で処分してください。

– 廃棄する前に必ずバッテリーを本機器から取り出してください。

– 必ず本機器を電源から切り離してからバッテリーを取り出してくだ さい。

– バッテリーは安全に廃棄してください。

注意事項:

バッテリーを取り出す前に、電源から切り離し、できるだけバッテリーを使い切ってください。

不要になったバッテリーは、適切なリサイクル施設で処分する必要があります。

爆発の恐れがあるため、高温の環境下に置かないでください。

不適切な使用状況下では、バッテリーから液体が漏れることがあります。
触れてしまった場合は、水で洗い流し、医師に相談してください。

取り出し方法:

1. ロボット掃除機本体を裏返し、背面のネジを適切な工具で外し、カバーを取り外します。

2. バッテリーと PCB ボードの間の端子を抜き、バッテリーを取り出します。